

事務の管理及び執行状況 の点検・評価実施報告書

(平成30年度実績)



由利本荘市教育委員会キャラクター
「学ぶん」

令和2年2月
由利本荘市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	7
	【学校教育部門】	
	(1) 確かな学力の形成	7
	(2) 開かれた学校づくり	9
	【社会教育部門】	
	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の推進	10
	(2) 生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	12
	(3) 社会教育施設の管理運営	14
	【スポーツ振興部門】	
	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	15
	(2) スポーツ施設の整備充実	16
	(3) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	17
	【文化振興部門】	
	(1) 芸術文化の振興	18
	(2) 文化財保護活動の推進	20
	【教育環境整備部門】	
	(1) 学校環境適正化の推進	21
	(2) 学校施設の整備	23

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務（同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、『由利本荘市の教育』に掲げる施策を12項目15事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会会長の工藤裕美子氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件
H30. 4. 17 (定例会)	議案第 1 2 号 由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第 1 3 号 由利本荘市教育委員会事務委任規則の一部改正について 議案第 1 4 号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第 1 5 号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第 1 6 号 由利本荘市図書館協議会委員の任命について 議案第 1 7 号 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 議案第 1 8 号 由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について 報 告 ・チャレンジデー 2 0 1 8 について ・鳥海山木のおもちゃ美術館について ・教育関係指導員配置について ・「旧大倉沢報徳館」国登録について
H30. 4. 17 (協議会)	協 議 1. 西目幼稚園・保育園一体化施設の建設地について 2. 矢島小学校改築場所について
H30. 4. 23 (協議会)	協 議 1. 西目幼稚園・保育園一体化施設の建設地について (現地調査) 2. 矢島小学校改築場所について
H30. 5. 9 (臨時会)	議案第 1 9 号 教職員の処分について
H30. 5. 23 (定例会)	議案第 2 0 号 由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館基金条例の制定について 議案第 2 1 号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第 2 2 号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第 2 3 号 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 報 告 ・由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館基金管理運用規定について ・「これからの学校を語る会」の開催について ・チャレンジデー 2 0 1 8 について ・北前船寄港地 日本遺産認定について (予定) ・平成 3 0 年度由利本荘市教育委員会 年間行事予定表について ・全国学力・学習状況調査について ・由利本荘市奨学資金 申込み及び貸付決定状況について ・県外等からの学校視察・行政視察について ・市内小・中学校の主な取組・功績等について ・市内小中学生生徒指導関係事案一覧について
H30. 5. 23 (協議会)	協 議 1. 西目幼保一体化施設の建設地について (決定)

H30. 6. 29 (協議会)	協 議	1. 矢島小学校改築場所に係る教育委員会方針について
H30. 6. 29 (定例会)	報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからの学校を語る会」での主な意見等について ・「学ぶん・チャレンジ・プログラムツアー」について ・鳥海山木のおもちゃ美術館開館について ・チャレンジ2018について ・国登録有形文化財「旧大倉沢報徳館」について ・平成30年度 教育委員会関係 主な工事の状況について ・県外等からの学校施設・行政視察について ・特別支援教育コーディネーター研修会について ・成人式について
H30. 7. 2 (臨時会)	議案第24号 報 告	<p>由利本荘市教育委員会委員の議席指定について</p> <p>1. 教育長職務代理者の指名について</p>
H30. 8. 20 (定例会)	議案第25号 報 告	<p>由利本荘市民俗芸能伝承館条例施行規則の一部改正について</p> <p>1. 石沢地域学校環境に関する要望について</p> <p>2. 由利本荘市・にかほ市夏期教職員研修会について</p> <p>3. 鳥海山木のおもちゃ美術館入館者数について</p> <p>4. 「NHKのど自慢」について</p> <p>5. 「子吉川レガッタ2018」について</p> <p>6. 「第27回全国市町村交流レガッタ大津大会」について</p> <p>7. 矢島小学校改築場所について（中間報告）</p>
H30. 9. 25 (定例会)	議案第26号 議案第27号 報 告	<p>小学校教科用図書採択について</p> <p>中学校教科用図書採択について</p> <p>1. 「これからの学校を語る会」の開催状況について</p> <p>2. 本市の全国学力・学習状況調査結果概要について</p> <p>3. 市内小・中学校の主な取組・功績等について</p> <p>4. 市内小中学生生徒指導関係事案について</p> <p>5. 県外等からの学校視察・行政視察について</p> <p>6. 「うたごえ喫茶ともしびin由利本荘」について</p> <p>7. 「全国市町村交流レガッタ大津大会」結果について</p> <p>8. 「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン鹿角大会」について</p> <p>9. 「奥羽横断駅伝競走大会」について</p> <p>10. 平成30年度「地域文化功労者表彰」について</p>
H30. 10. 29 (定例会)	議案第28号 議案第29号 報 告	<p>北部学校給食センター建設工事請負契約の締結について</p> <p>由利本荘市武道館条例の一部改正について</p> <p>1. 「これからの学校を語る会」の開催状況について</p> <p>2. 文部科学省設置法の一部改正について</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 3. 市内小・中学校の主な取組・功績等について 4. 市内小中学生生徒指導関係事案について 5. 県外等からの学校視察・行政視察について 6. 「由利本荘市文化講演会」について 7. 「由利本荘市民音楽祭」について 8. 「ナイスアリーナ」開催予定スケジュールについて 9. 秋田県教育委員会「不祥防止ハンドブック」の改訂について 10. 平成30年度「第1回 由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」について 11. 岩城公民館「文部科学省優良公民館表彰」決定について 12. 平成30年度 青少年育成由利本荘市民会議 標語コンクール入賞作品選考結果について 13. 第45回親子読書感想発表会について 14. 第58回奥羽横断駅伝競走大会の結果について
H30. 11. 29 (定例会)	議案第30号 報 告	<p>平成31年度由利本荘市小・中学校教職員人事異動方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 奨学金制度の今後のあり方について 2. 石沢小学校の今後のあり方に関する保護者意向調査について 3. 教育委員会関係 主な工事の状況について 4. 市内小中学生生徒指導関係事案について 5. 県外等からの学校視察・行政視察について 6. 科学フェスティバルについて 7. 由利本荘市中学生アカデミーについて 8. 鳥海山木のおもちゃ美術館入館者数等について 9. ボニージャックス60周年記念コンサートについて 10. ナイスアリーナ利用状況について 11. ゆりほんじょう人形劇フェスティバルについて 12. 高橋宏幸賞 感想文・感想画コンクールについて
H30. 12. 26 (協議会)	協 議	<ul style="list-style-type: none"> 1. 第二次学校環境適正化検討委員会の「第二次提言」について
H30. 12. 26 (定例会)	議案第31号 報 告	<p>由利本荘市体育館条例の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 第二次学校環境適正化検討委員会「第二次提言」について 2. 由利本荘市・箕面市中学生交流事業について 3. 科学フェスティバルについて 4. 市内小・中学校の主な取組・功績等について 5. 市内小中学校生徒指導関係事案について 6. 県外等からの学校視察・行政視察について 7. 由利本荘市成人式について 8. 芋川桜づつみパークゴルフ場指定管理者の公募について 9. 郷土民謡民舞全国大会について

<p>H31. 1. 25 (定例会)</p>	<p>議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号 報 告</p>	<p>由利本荘市天鷲施設条例の一部改正について 公の施設の指定管理者の指定について 公の施設の指定管理者の指定について 1. 学校環境適正化について 2. 市内小中学校のエアコン設置状況及び設置計画について 3. 西目小学校第2グラウンド地下状況調査結果について 4. 由利本荘市冬季教職員研修会について 5. 学校私費会計の経理検査の実施について 6. 由利本荘市いじめ問題対策連絡協議会について 7. 幼稚園・保育所等における 特別支援教育コーディネーター研修会について 8. 市内小中学校生徒指導関係事案について 9. 県外等からの学校視察・行政視察について 10. 成人式出席者数について 11. 歴史講演会について</p>
<p>H31. 2. 22 (定例会)</p>	<p>議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 報 告</p>	<p>由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画（案）について 由利本荘市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について 事務の管理及び執行状況の点検・評価実績報告書 （平成29年度実績）（案）について 物品（厨房機器備品）購入契約の締結について 1. 由利本荘市立中学校における運動部活動等の方針について 2. 由利本荘市中学生会議について 3. 市内小中学校生徒指導関係事案について 4. 県外等からの学校視察・行政視察について 5. Bリーグ公式戦について 6. 第54回由利本荘市クロスカントリーレースについて 7. 天鷲郷施設条例の一部を改正する条例（案）について 8. 「根子ノ沢遺跡出土土器」について</p>
<p>H31. 3. 4 (臨時会)</p>	<p>議案第 8 号 議案第 9 号 議案第 10 号</p>	<p>由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画（案）について 平成30年度末由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について 脊柱側湾症に係る損害賠償請求に関する件について</p>
<p>H31. 3. 26 (定例会)</p>	<p>議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 報 告</p>	<p>由利本荘市教育委員会事務局及び学校以外の教育機関の職員辞令式規則の一部改正について 平成31年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成31年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 平成31年度『由利本荘市の教育』について 平成31年度教育費予算について 由利本荘市スポーツ賞推進委員の委嘱について 1. 市内小・中学校の主な取組・功績等について 2. 市内小中学校生徒指導関係事案について 3. 県外等からの学校視察・行政視察について 4. チャレンジデー2019について</p>

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
5月31日	石沢小	10月23日	子吉小・本荘南中
6月 1日	由利中	10月24日	大内小
6月13日	尾崎小	10月30日	東由利小・東由利中
6月20日	新山小・本荘東中	10月31日	鳥海小・鳥海中
6月22日	岩城小	11月 8日	由利中
6月26日	由利小・西目小	11月13日	小友小
6月27日	東由利小・東由利中	11月14日	由利小
7月 2日	子吉小・矢島中	11月19日	西目中
7月 3日	大内小・大内中	11月21日	矢島小・矢島中
7月 4日	本荘南中		
7月 5日	小友小・岩城中		
7月 6日	岩谷小		
7月 9日	鳥海中		
7月10日	本荘北中		
7月11日	矢島小・鳥海小		
7月18日	鶴舞小・西目中		

②諸会議・研修等 【教育長・教育委員】

月 日	会 議 名 等	場 所	出 席 者
5月17日～18日	第70回全国都市教育長協議会定期総会	一関市/一関文化センター	教 育 長
5月24日	全県市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田市/秋田県庁第2庁舎	教育委員
5月31日	全県市町村教育委員会連合会 第1回定期総会	秋田市/秋田市役所	教 育 長
7月13日	東北六県市町村教育委員会連合会 教育委員・教育長研修会	山形市/山形テルサ	教 育 長
10月15日～16日	市町村教育委員会研究協議会	山形市/山形テルサ	教育長/教育委員
11月 1日	秋田県市町村教育委員会連合会及び 秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田市/秋田市役所	教育長/教育委員
11月6日～7日	B&G全国教育長会議	港区赤坂/日本財団ビル	教 育 長
11月 1日	全県市町村教育委員会連合会第2回定期総会	秋田市/秋田市役所	教育長/教育委員
1月22日	B&G全国サミット	港区三田/笹川記念会館	市長 / 教育長

(3) 計画の策定状況

- 「第3次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈平成27～31年度〉」平成27年3月策定
- 「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈平成27～31年度〉」平成27年11月策定
- 「由利本荘市スポーツ振興計画〈平成28～36年度〉」平成28年9月策定
- 「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」平成31年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	① 諸調査の分析及び研修会		
事業の目的	<p>○ 諸調査の分析を充実させることで児童生徒の実態を把握し、授業改善を図ったり課題に対応した効果的な手立てを講じたりすることができるようにする。</p> <p>○ 生徒指導の充実を図り、不登校やいじめ等生徒指導上の諸課題への対応の在り方についての研修を深める。</p>		
事業の実施状況	<p>○ 学力調査の分析・訪問指導等 ○ 児童生徒質問紙等の分析</p> <p>○ 生徒指導に関する研修会等の開催及び学校生活アンケート等の実施</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○ 学力調査の分析・訪問指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）採点委員会の開催（4月23日、25日） ・ 秋田県学習状況調査（小4～中2対象）採点委員会の開催（12月7日、10日） 小・中学校教諭や市内高校の教諭、教育委員会関係者が集まって採点し、各学年の成果と課題について協議を行った。また、協議内容については各校へ情報提供し、授業改善のために活用した。 ・ 総合学力調査（小5～中3対象）の実施（4月）と支援システムの活用 基礎・基本の定着や知識・技能を活用する力について調査し、成果と課題を検証した。また、ウェブ上の分析システムを利用し、児童生徒個々の実態に応じた復習シート等を活用した。 ・ 市授業力向上訪問等の実施（各校の希望日6月～2月：45回） 指導主事が各校を訪問し、授業研究会を通して、児童生徒の主体的な活動を促し、子どもが関わり合いながら学びを確かなものにする手立てなどを助言した。 <p>○ 児童生徒質問紙等の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習への取組、生活習慣、地域への関心などに対する意識を分析し、市の研修会で報告するとともに、学校報に掲載して保護者及び地域住民と情報を共有した。 <p>○ 生徒指導に関する研修会等の開催及び学校生活アンケート等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市生徒指導研修会（8月2日）、夏季研修会生徒指導部会（8月8日）の開催 研修会には由利本荘警察署より講師を招き、市内の不良行為少年等の傾向や具体的な事案、不登校の背景や予防的な方策等について研修した。生徒指導部会では、不登校の未然防止と組織的な支援について協議を行った。 ・ 学校生活アンケート（7月・12月）の実施 いじめに関する記述についてはそのすべてに即時対応し、指導や見守りを継続している。 			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○ 学力調査の分析結果について周知を図るとともに、日常の授業づくりに反映させ、授業改善に努める必要がある。また、意識調査の結果を学校での指導に生かすとともに、家庭や地域との連携を一層深めていく必要がある。各校における居場所づくり・絆づくりの取組や、家庭や関係諸機関との連携が一層充実していくような働きかけを継続していく必要がある。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○ 採点后、成果と課題を各校へ情報提供し、授業改善に活かしている取組を高く評価したい。課題を授業に活かしていくことが大切である。</p> <p>○ 教職員の一生懸命さが伝わってくる。保護者に対し、結果を丁寧に報告していることに感謝したい。</p> <p>○ 地域、学校が一体化した教育活動を進め、いじめ根絶、不登校の未然防止に一層努めてほしい。</p>			

		分 野	学校教育部門
項 目	(1)確かな学力の形成	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	②特別支援教育及び就学前教育等への支援		
事業の目的	<p>○早期からの検診、教育相談体制を整備し、保護者や子どもに寄りそった支援を継続していくことで「0歳から就労まで」の切れ目ない支援体制を構築する。</p> <p>○健康福祉部三課（子育て支援、健康管理、福祉支援）と連携して情報共有を図り、保護者や子どもの実態に合わせた支援を行う。</p>		
事業の実施状況	<p>○5歳児健康相談の実施</p> <p>○幼保コーディネーター研修会の開催</p> <p>○就学支援員、学校間連携コーディネーターの配置</p> <p>○学校生活サポートの配置</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○5歳児健康相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理課、子育て支援課との連携により市内すべての幼児を対象に健康相談等を実施した。 ・保健師、保育士による発達検査や遊びの様子を観察し、子育てや就学に関わる保護者学習会とアンケートを実施した。 ・臨床心理士、教育専門監等による個別の相談も実施した。 <p>○幼保コーディネーター研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回、幼稚園・保育所・認定こども園等の先生方を対象に特別支援コーディネーター養成研修会を実施し、障がいをもつ子どもの特性や関わり方、保護者への支援の在り方について、ゆり支援学校教育専門監や県の指導主事の指導を受けた。 <p>○就学支援員、学校間連携コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・認定こども園等から小学校への就学をスムーズに行うために就学支援員を配置し、園訪問で得た情報を小学校へ引き継ぐとともに、幼児通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し個別の指導を実施した。 ・小学校から中学校、中学校から高校への引継ぎを確実にを行うため学校間連携コーディネーターを配置し、『引継ぎシート』を活用した引継ぎを実施した。 <p>○学校生活サポート研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月の県主催の研修会の他、市独自の研修会を2月に開催し、児童生徒の支援に関する研修と支援を引き継ぐための資料作成を行った。 			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○5歳児健康相談は、早期からの支援に大変有効であるので、各課との連携のもと今後も継続して実施し、子どもへの支援を更に充実させていく。</p> <p>○就学支援員や学校間連携コーディネーターの配置により就学が円滑に進んだ。しかし、限られた園・学校での支援活動にとどまっているので、この成果の周知を図り、更なる支援の充実を目指していく。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○現場の指導者が、この取組を有効であると評していることが大切である。引き続ききめ細かい支援をお願いしたい。</p> <p>○平日頃より、就学に向けた指導がしっかりできていると感じている。中学校入学後、元気が無くなる生徒がいると聞く。高校進学後に不登校になる人もいるとの話も聞く。小・中・高の引き継ぎが大切であると感じている。『引継ぎシート』は非常に大切なので、これからも連携を深め、取り組んでいただきたい。</p>			

		分 野	学校教育部門
項 目	(2)開かれた学校づくり	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	コミュニティ・スクール		
事業の目的	<p>○学校経営に地域の願いを取り入れ、学校運営の方針について学校運営協議会の承認を得るとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深め、協力を促すことで、地域に開かれた学校づくりに資する。</p>		
事業の実施状況	<p>○各小・中学校の「学校運営協議会」及び中学校区ごとの「地域運営協議会」の定期的な開催</p> <p>○各学校運営協議会での学校における具体的な目標の検討、周知、評価と改善</p> <p>○「市コミュニティ・スクール連絡協議会」を中心とした各地域運営協議会の活性化</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○「学校・地域運営協議会」の定期的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は、平成27年度よりすべての小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域力を生かした学校づくり、学校力を生かした地域づくりに向けて取り組んでいる。学校運営協議会では、地域住民の立場から学校運営を評価していただき、ふるさとの未来を託せる人材の育成に向けて、学校とともに企画・立案した。 <p>○学校における具体的な目標の検討、周知、評価と改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標、方策、評価、改善点等を地域や保護者に周知したことで、地域に根ざした教育活動の推進につながった。 <p>○各地域運営協議会の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回開催の「市コミュニティ・スクール連絡協議会」では、各地域運営協議会、県立学校等の取組についての実践報告や、県立大学の渡部准教授による講話など、今後の実践につながる内容を研修することができた。 			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○「市コミュニティ・スクール連絡協議会」を通して学んだことをそれぞれの「地域運営協議会」及び「学校運営協議会」の運営に生かし、各地域運営協議会とともにある学校づくりを更に充実させる。</p> <p>○「市の未来を託せる人材の育成」に向けた学校運営協議会の更なる充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の課題解決に向けたコミュニティ・スクールの推進 ・ふるさと教育に基づいたキャリア教育の推進 			
学識経験者の意見			
<p>○各地域でのCSの取組を全市で情報共有し、定期的に評価しながら、引き続き積極的に進めてほしい。今の取組を高く評価したい。</p> <p>○この取組は、今、子どもたちの文化活動やスポーツ活動にも活かされている。今後の積極的な取組を期待したい。</p> <p>○学校統合が今後も進む状況において、この取組は、今後より重要になってくると考える。</p>			

		分野	社会教育部門
項目	(1)読書の大切さの啓発と読書活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		子どもの読書活動推進事業	
事業の目的		<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。 「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>	
事業の実施状況		<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月17日 第1回企画部会 ・平成30年6月7日 第1回子どもの読書活動推進会議 ・平成30年6月21日 研修部会 ・平成30年10月12日 ボランティア部会（おはなしフェスティバル打合せ会） ・平成30年11月14日 広報部会 ・平成31年2月19日 （年度末）子ども読書活動推進会議会議 <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月9日 読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会 ・平成30年10月20日 おはなしフェスティバル開催 ・平成31年2月15日 「心にとどけスマイル便第12号」発行 「スマイルひろがり便第3号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年 <ul style="list-style-type: none"> 9月 20日（子吉放課後児童クラブ） 10月 5日（子吉保育園）、19日（石脇北保育園）、29日（若草幼稚園・保育園）、30日（本荘保育園）、31日（風の子保育園） 11月 22日（内越保育園）、29日（石脇東保育園） 12月 4日（小友保育園）、18日（岩谷保育園）、21日（風の子保育園） ・平成31年 <ul style="list-style-type: none"> 1月 10日（ゆり保育園）、18日（中央保育園）、29日（石沢保育園） <p>○図書館を使った調べる学習コンクール関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月1日 指導者向け講座 ・平成30年7月8日 児童・生徒向け講座 ・平成30年10月28日 第1回由利本荘市調べる学習コンクール表彰式 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月25日 平成30年度全県読み聞かせボランティア交流会（ブース発表） 	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○各部会の活動は積極的になされており、成果もあがっている。</p> <p>○「ぼくもわたしもこの本大好き～いろんなところ～」をテーマに読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会を開催した（参加者42名）。実践発表のほか、グループ協議では一人一冊絵本を持ち寄り、選書についての協議を行った。県子ども読書支援センターから講師を招いて研修も行い読み聞かせ技術の向上をはかるとともに、団体間のよい情報交換の場となった。</p> <p>○保護者向けチラシ「心にとどけスマイル便第12号」とともに、子どもの読書活動推進会議広報誌として「スマイルひろがり便第3号」を発行した。</p> <p>○「第1回由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」（中央図書館所管）を開催し、14作品の応募があった。「調べる学習」を通じて、全ての人が図書館を活用し、生涯を通じて学ぶ力を育てるための新たな取組のひとつとして今後も継続して開催する予定であり、その周知に努めている。</p>			

<p>今後の課題及び改善策・方向性</p>	<p>○会長と各部の部長等で構成する企画部会を開催し、推進会議全体の方向性や活動の改善点などについての協議を行うことができたので、今後も年間計画やボランティア団体間の情報共有を行い読書活動推進を進めていく必要がある。読み聞かせの活動団体等が図書館、保育園・幼稚園、学校、地域と連携して活動ができるよう支援が必要である。</p> <p>○市子どもの読書活動推進会議が実施している研修会については、特定の参加者に偏ることのないように広く呼びかけるよう心がけたい。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○本市は読書活動が盛んな市であり、現在積極的に活動していただいているボランティアサークルの取組は、今後、より重要なものになってくると考える。館外にも積極的に出かけ、幅広い活動を行っていることを高く評価し、今後ますますの活躍を期待したい。</p> <p>○「昔語り」も、読み聞かせと同様に大切であると考え。昔の言葉で語る「あったかい話」についても大切にしていきたい。</p> <p>○「調べる学習コンクール」は、大変意義のある事業である。今後も継続実施していただきたい。</p> <p>○「心にとどけスマイル便第12号」の6,000部発行を高く評価したい。これら情報発信の取組を通して、本市読書活動の更なる推進に期待したい。</p>

		分 野	社会教育部門
項 目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担 当 課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		学社連携・融合の推進事業	
事業の目的			
○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。			
事業の実施状況			
○【継続事業】放課後子ども教室（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）			
・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。			
・市内小学校14校（14教室）で通年開設。			
・延べ開催回数 1,217回、延べ参加児童数 46,009人、延べスタッフ数 4,133人			
・事業費総額 6,963千円			
○【継続事業】学校支援活動（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）			
・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。			
・中学校単位で10本部を設置し、市全小中学校（小学校14校、中学校10校）が対象。			
・活動時間数 1,326時間、延べボランティア人数 6,150人			
・事業費総額 1,498千円			
○【継続事業】地域未来塾（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）			
・地域住民や大学生の協力による無料学習支援の場づくり。			
・市内全中学校生徒（中学校10校）を対象。			
・活動日数 27日、希望者数 60人、延べ参加生徒数 512人			
・事業費総額 445千円			
点検評価及び		□目標を上回る ■ほぼ目標どおり	
説明		□目標をやや下まわる □目標を大幅に下まわる	
○放課後子ども教室			
・H29国の補助事業を活用し整備したタブレット端末（6教室・73台）の更なる有効活用を図るとともに、効果や課題については今後アンケート等で随時検証していく。			
○学校支援活動			
・学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習環境整備・学校行事等を支援した。認知度も高くなっている。			
○地域未来塾			
・「基礎学力の定着」、「学ぶ喜びの醸成」など様々な喜びのある「学び舎」を目指した。前年度より参加希望者も増加し、事後アンケートでは「定期的な開催」、「指導者の配置」が特に好評であり、評価が高い事業となった。			

今後の課題及び改善策・方向性

○放課後子ども教室

・地域により活動時間、内容の差がある。また、スタッフの高齢化等による後継者不足が進んでいる。今後は地域人材の確保と育成が課題である。

○学校支援活動

・各校の事業数が減少している。コミュニティ・スクールとのより一層の連携が重要。多数の地域住民に参画いただくため、住民意識の醸成、意欲ある活動者の確保が必要となる。

○地域未来塾

・前年は3地域（矢島、鳥海、東由利）で参加がなかったが、本年は全地域から参加があった。今後はカダーレを主会場として、各地域での出張教室も考えていく必要がある。

学識経験者の意見

○これら3事業は、それぞれ地域からも求められている事業である。中でも地域未来塾は、指導者が元教師や県立大学生であり、分からない時にすぐ指導を受けられることから、人気が高まっている事業である。そうしたことから、今後参加者が多くなった場合の方策も考えておく必要がある。

○小学生の頃から大学生とふれあう機会を持つことは、自分の将来像を描くうえでも、非常に良いことである。

		分野	社会教育部門
項目	(3)社会教育施設の管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	社会教育関係施設の整備事業		
事業の目的	<p>○市民にとって身近な公民館等、社会教育活動の拠点施設の維持管理と整備を図り、施設の利用促進に努める。</p>		
事業の実施状況	<p>○岩城会館空冷式冷凍機更新工事事業 12,582千円 ○松ヶ崎運動広場防球ネット修繕事業 2,387千円 ○南内越コミュニティ体育館照明器具交換修繕事業 3,132千円 ○シーガル移動観覧席部品交換修繕事業 2,765千円 ○文化交流館管理運営費(カダーレ指定管理料、修繕料等) 172,188千円 ○木のおもちゃ美術館整備事業(おもちゃ列車整備含む委託・工事一式) 90,345千円 ※7月1日グランドオープン 平成30年度入館者数：69,110人(目標数：25,000人) ○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
点検評価及び説明	<p><input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる</p>		
<p>○老朽化した社会教育施設の補修・改修等を実施することにより、利用者の安全と快適性の確保など、利用者サービスの向上に資することができた。</p> <p>○多世代交流の木育拠点施設として整備した「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、開館以来多くの来館者数を誇り、市民サービス向上に寄与することができた。また、国登録有形文化財旧鮎川小学校の利活用だけでなく、豊富な森林資源の活用、子どもの遊び場の創出にも効果を発揮している。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。 また、修繕については、年次計画などを策定するなど、複数年度の修繕計画も考えていく。</p> <p>○指定管理施設の運営については、指定管理者との連携を図り、効率的・効果的な施設の運営に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○目標を上回ったとの自己評価であり、非常に嬉しい。大いに評価したい。施設は年々老朽化も進むことから、緊急性を意識しながら計画的に進めていただきたい。</p> <p>○「鳥海山木のおもちゃ美術館」が、大変好評で嬉しい。子供だけではなく大人の入館も多い施設であり、入館しても遊べない子も見かける。「小学生デー」のような企画に期待したい。また、2年度に整備する「あゆの森」も大いに期待したい。</p> <p>○人気を高めている「大人の登校日」は非常に良い取組である。今後も続けていただきたい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門
項目	(1)生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業		
事業の目的	○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。		
事業の実施状況	<p>○チャレンジデーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手：鹿児島県霧島市 参加者数64,297人、参加率82.0% <p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域各スポーツ教室 2,292人 ・スポーツ振興大使スポーツ教室（バレーボール：106人、ランニング：80人） ※ナイスアリーナ開館記念として他スポーツ教室と同時開催 ・遊泳館水泳教室 年間参加者合計 2,362人 <p>○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子吉川レガッタ：66クルー ・300歳以上ソフトボール大会：26チーム ・男女混合バレーボール大会：17チーム ・ネオホッケー大会：14チーム ・クロスカントリーレース：350人 <p>○地域間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国市町村交流レガッタ大会：142(7)クルー（滋賀県大津市で開催）・奥羽横断駅伝競走大会：28(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：34(1)チーム、横荘線メモリーウォーキング：69(41)人、ほか各教育学習課による連携事業の開催 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○スポーツ推進委員や体育協会等と連携しての各種スポーツ教室開催により、子供から高齢者までの活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等について、複数地域でのブロック開催を検討するなど、より多くの市民がスポーツに親しめるような環境整備を図る。</p> <p>○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じて各地域からの参加を促す。</p>		
学識経験者の意見	<p>○各種大会や教室等参加者の前年比較を行い、事業を分析して「改善すべき点」「これからの進むべき方向性」等を見極めながら進めていただきたい。</p> <p>○ナイスアリーナが完成し、スポーツやアリーナに対する関心が高まっている。フロアを使用した「体力測定」など、日頃競技スポーツをしていない人でも、アリーナのフロアで活動できる機会を設けるなど、市民の身近な施設として活用される施設になるような取組に期待したい。</p> <p>○今後、各地域で様々な事業や大会、教室を開催する際、地域を越えて参加者を募るとともに、近隣の教育学習課が連携して一つの事業を組み立てるなど、複数の地域が連携する事業の実施について期待したい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門	
項目	(2)スポーツ施設の整備充実	担当課	スポーツ課	
点検・評価対象事業名		・既存体育施設の改修整備		
事業の目的		○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況		○岩城地域 84,859千円 サンスポーツランド岩城テニスコート大規模改修工事(テニスコート4面改修、駐車場整備) ○東由利地域 3,240千円 東由利体育館アリーナ高所照明LED化交換修繕(体育館照明のLED化交換) ○西目地域 47,502千円 西目B&G海洋センタープール棟改修工事(プール棟鉄骨塗装、サイド床改修、プール上屋膜体取替修繕等) 4,347千円 西目カントリーパークサッカー場空調設備修繕(エアコン付け替え修繕) ○鳥海地域 3,348千円 鳥海球場照明設備修繕(照明設備絶縁不良修繕)		
点検評価及び説明		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
		○経年劣化等により改修や修繕が必要とされていた施設や設備の改修を年次計画で行い安全性と利便性を進めた。		
今後の課題及び改善策・方向性		○平成30年10月に由利本荘総合防災公園「ナイスアリーナ」がオープンし、今後は「ナイスアリーナ」を拠点にスポーツ振興を推進していくが、地域の体育施設はそこに住む市民のスポーツ活動拠点となっていることから、整備を順次進めていくことが必要である。 ○各地域の体育施設は、老朽化等により改修や修繕費用が年々増加してきている。一方で交付税の削減により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているため有効な助成事業等活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。		
学識経験者の意見		○30年度事業が目標どおり遂行できたことを評価したい。 ○体育施設は安全性が最も大切である。緊急度を把握し、優先順位を付して計画的に整備を進めていただきたい。		

		分野	スポーツ振興部門	
項目	(3)プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担当課	スポーツ課	
点検・評価対象事業名		・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業		
事業の目的		<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>		
事業の実施状況		<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。 ・サッカースクールの開催や地域貢献事業を展開。 ・チャレンジデーサッカー教室の開催：参加47人 <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問やバスケクリニックの開催により、小学生などの子ども達にプロ選手との交流の場を提供。 ・バスケクリニックの開催：参加91人 ・ホームゲーム開催に伴う大会運営への協力 		
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
		<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、トップスポーツ選手との直接交流が刺激になり、またトップスポーツ選手から直接指導を受けることにより、目標設定や競技力向上に繋がる。</p> <p>○ナイスアリーナが開館し、秋田ノーザンハピネッツのホームゲームが本市で開催され、市民はハイレベルの試合を間近で観戦することでスポーツの醍醐味を味わうことができた。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性		<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となった。市内サッカー場での練習会場の提供などチームとの関わり方について関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームの由利本荘市での継続開催へ向けて、チームと連携を密にしながら誘致し、開催が決まった場合は大会運営に協力していく。</p>		
学識経験者の意見		<p>○プロスポーツを直接観る機会を持てることは、非常に貴重である。今後もこのような機会を継続して計画してほしい。</p> <p>○小・中学生が自分の将来像を描くとき、幼い頃からプロスポーツ選手に接することができるのは非常に大切であり、ありがたい。今後も夢を描けるような取組を期待したい。</p>		

		分野	文化振興部門
項目	(1) 芸術文化の振興	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	① 芸術鑑賞教室		
事業の目的	<p>○芸術文化公演等の鑑賞機会が少ない市内在住の全児童・生徒に対し、毎年、各種の公演等を鑑賞し触れることのできる機会の提供を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>		
事業の実施状況	<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>* 小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,688人 ・開催期日：平成30年8月30日（木）～8月31日（金） 3公演 ・上演作品：影絵劇「長靴をはいた猫」</p> <p>* 小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1,216人 ・開催期日：平成30年9月4日（火） 2公演 ・上演作品：影絵劇「西遊記」</p> <p>* 小学校6年生の部（劇団四季「こころの劇場」） 参加者数：824人 ・開催期日：平成30年9月20日（木） 1公演 ・上演作品：演劇「魔法をすてたマジョリン」</p> <p>* 中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,711人 ・開催期日：平成30年9月6日（木）～7日（金） 3公演 ・上演作品：演劇「ベニスの商人」</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校14校、中学校10校の全児童・生徒を対象とした鑑賞会の開催。 劇団四季「こころの劇場」は、平成28年度よりにかほ市の小学校6年生も招待しており、今年度も4校から206名が参加した。</p> <p>○本格的なホールでの鑑賞を経験する機会の提供と、全校が一堂に会することで市の一体感の醸成にも資する。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○今後も、学校の希望も取り入れながら継続開催に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○すばらしい事業であるので、今後も継続してほしい。にかほ市の児童も参加していることは、交流を深める面でも良い機会となっており、高く評価したい。</p> <p>○首都圏の優れた舞台芸術のほか、市民が取り組んでいる人形劇を、「地域文化活動」として、児童に鑑賞できる機会を提供していることも高く評価したい。</p> <p>○音楽的な要素のある舞台芸術も重要であるので、様々な芸術活動を鑑賞できるよう、計画的に進めていただきたい。</p>		

		分野	文化振興部門
項目	(1) 芸術文化の振興	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	②第14回由利本荘美術展		
事業の目的	<p>○市民が様々な分野の芸術文化に出会い鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>		
事業の実施状況	<p>○由利本荘美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3 ・開催期日：平成31年2月2日(土)～2月6日(水) ・出品者数(作品数)：117名 絵画25、書道34、工芸23、写真35 ・期間中入場者数：1,450人 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○絵画・書道・工芸・写真の各部門が一堂に会し、由利本荘圏域住民が多様な芸術と出会う機会となった。また、個々の作品の質が高く、総じて展覧会としての充実が見られたことから来場者からも高評を得た。</p> <p>○各部門からの出品者・作品数は、ほぼ同規模で推移。</p> <p>○新人の発掘や登用が図られ、同時に作品発表の機会提供も図られた。</p> <p>○市民主導(実行委員会)での開催により、創作活動意識の高揚が図られた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○継続開催に努める。</p> <p>○部門を越えた作家同士の交流の場となることから、地域を拠点に活躍する新たな芸術活動や人材育成が期待できる。</p> <p>○引き続き新人の発掘や登用を図る。</p> <p>○更に魅力アップを図るための企画を検討、提案していく。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○本美術展での展示は、芸術作家にとって誇りであり、創作意欲の向上の面でも、非常に良い機会となっている。鑑賞する側においても、優れた作品を身近で鑑賞でき、非常に良い学習機会となっている。</p> <p>○今後秋田公立美術大学や、ゆり支援学校、福祉施設等と連携した鑑賞機会などについても期待したい。</p> <p>○美術展の開催は、圏域の文化力向上などレベルアップに大いに役立っている。こうした大きい美術展を由利本荘市で行っていることも意義深く、高く評価したい。</p>			

		分 野	文化振興部門
項 目	(2)文化財保護活動の推進	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	鳥海山北麓の獅子舞番楽記録作成事業		
事業の目的	本市とにかほ市に跨がる8団体が「鳥海山北麓の獅子舞番楽」として国記録選択されたことから、この8団体を中心に周辺域の獅子舞番楽を広域的に調査し記録保存することにより、将来への忠実な保存・継承につなげることを目的とする。		
事業の実施状況	<p>平成30年度が4ヵ年事業の最終年にあたる。</p> <p>国・県補助を受けながら、にかほ市と共同で実施（補助事業者は由利本荘市）。文化庁の指導をいただきながら、文化庁文化審議会第五専門調査会委員の高山茂氏を中心とする調査委員会の中で、3ヵ年にわたって実施した現地調査を基に、今年度は追加調査をしたうえで調査報告書を作成、刊行した。</p> <p>調査対象 鳥海山北麓の獅子舞番楽として記録選択されている「坂之下番楽」「屋敷番楽」「濁川獅子舞」ほか、にかほ市内の5団体を中心に二市内に所在する獅子舞番楽。（消滅・休止団体も含むおよそ100団体）</p> <p>期 間 平成30年4月1日～平成31年3月31日（H27.4.1～H31.3.31）</p> <p>調査委員会 鳥海山北麓の獅子舞番楽調査委員会設置要綱に基づき、調査委員6名、調査員3名、特別調査員2名、助言者2名、特別協力者1名、調査補助員（調査対象団体）8名、事務局8名により設置</p> <p>成 果</p> <p>調査委員会 第1回 H30.5.27（日） 調査計画・状況、執筆計画・状況 追加調査 編集会議、校正作業</p> <p>第2回 H31.3.20（水） 原稿校正、編集状況 （最終委員会）</p> <p>追加調査 延べ58回</p> <p>調査報告書 第1章～第7章・資料編 全371頁</p> <p>調査団体数 記録選択6団体 活動中43団体 休止・消滅26団体</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	国内でも、特に民俗芸能が保存継承されている地域として、にかほ市と共同しながら4ヵ年にわたって目標を上回る対象の把握と実施調査を行い、広範に及ぶ膨大かつ詳細な記録を調査報告書としてまとめることができた。		
今後の課題及び改善策・方向性	○調査最終年度となる4年次であり、調査報告書の刊行により事業の終了となるが、まとめられた調査報告資料を保存・継承に役立てるため、多方面で検討をしながら活用を図る必要がある。		
学識経験者の意見	<p>○4ヵ年の国庫補助事業として実施した本調査は、国記録選択された団体以外に、本荘由利全域の団体を対象として行った点や、文化庁も重視した全国に例のない範となる調査であったこと、また300頁にわたる詳細な報告書など、素晴らしい調査及び記録であり高く評価したい。また、調査に尽力された先生方に感謝したい。</p> <p>○人口減少が続いているなかで、民俗芸能のほか、祭りや伝統行事も継続が厳しい状況になってきている。この調査記録が、各芸能の保存団体や祭り・行事の関係者の方々の宝として、今後の励みになることを期待したい。</p> <p>○本市の特徴ある施設、民俗芸能伝承館「まいーれ」について、鳥海地域に設置した意義も含めて市外周知に努め、魅力を大いにPRしてほしい。遠くても訪問したくなる取り組みに期待したい。</p>		

		分野	教育環境整備部門
項目	(1)学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の策定		
事業の目的	<p>○ 児童規模において、100人以下の小規模校から800人規模の大規模校まで6校で構成されている本荘地域において、児童の減少が今後も続き、複式学級導入の学校も複数生じてくる可能性を重く捉え、学校間の教育環境の格差を解消し、文部科学省が示している適正規模・適正配置に基づいた均衡ある学校を構築するため、「第二次学校環境適正化基本計画」を策定し、本荘地域の適正な学校環境のあり方について、その方向性を示す。</p>		
事業の実施状況	<p>○平成30年3月26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校環境適正化検討委員会松本真一委員長「第一次提言書」教育委員会に提出。 <p>○平成30年5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第一次提言報告会」開催 場所：石沢小学校 <p>○平成30年6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第一次提言」周知 『広報 ゆりほんじょう 6月1日号』 ・「これからの学校を語る会」開催 <ul style="list-style-type: none"> 11日 本荘地域 (カダーレ) 15日 本荘東中学校区 (カダーレ) 18日 石沢地区 (ウッデイホールこだま) 22日 本荘地区民事連児童福祉部会 (広域交流センター) <p>○平成30年7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの学校を語る会」開催 (検討委員会主催 教育委員会共催) <ul style="list-style-type: none"> 5日 小友地区 (小友公民館) 12日 子吉地区 (子吉公民館) <p>○平成30年8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの学校を語る会」開催 (検討委員会主催 教育委員会共催) <ul style="list-style-type: none"> 27日 尾崎小学校区 (カダーレ) <p>○平成30年9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの学校を語る会」開催 (検討委員会主催 教育委員会共催) <ul style="list-style-type: none"> 19日 尾崎小学校区 (尾崎小学校) ・尾崎小学校保護者全員へ意見聴取 (自由記載用紙の配布・回収) <p>○平成30年10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これからの学校を語る会」開催 (検討委員会主催 教育委員会共催) <ul style="list-style-type: none"> 11日 石沢小学校区 (ウッデイホールこだま) 19日 鶴舞小学校区 (鶴舞小学校) ・鶴舞小学校保護者全員へ意見聴取 (自由記載用紙の配布・回収) ・石沢小学校保護者全員へ意見聴取 (自由記載用紙の配布・回収) ・石沢地区未就学児保護者全員へ意見聴取 (自由記載用紙の配布・回収) <p>●平成30年4月～12月</p> <p>「第二次学校環境適正化検討委員会」の開催【市民意見の把握・協議】 (平成30年12月までに7回開催 (第13回～19回))</p> <p>○平成30年12月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校環境適正化検討委員会松本真一委員長「第二次提言書」教育委員会に提出。 <p>○平成30年12月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市議会教育民生常任委員会」報告 ・「平成30年度第4回由利本荘市校長会」報告 		

点検・評価対象事業名：「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の策定

<p>○平成30年12月25日 ・「教育委員会 委員協議会」開催</p> <p>○平成30年12月27日 ・「第二次提言書」市ホームページ公開</p> <p>○平成31年1月 ・「第二次提言」周知 『広報 ゆりほんじょう 1月15日号』</p> <p>○平成31年 1月 ・「第二次提言報告会」開催（感想・意見聴取）（教育委員会 主催） 27日 小友小学校区 （小友公民館） 28日 石沢小学校区 （ウッデイホールこだま）</p> <p>○平成31年2月 ・「第二次提言報告会」開催（感想・意見聴取）（教育委員会 主催） 4日 鶴舞小学校区 （鶴舞小学校） 7日 尾崎小学校区 （尾崎小学校） 19日 鶴舞・尾崎・子吉小学校区 （カダーレ） ・「教育委員会 委員協議会」開催 「第二次学校環境適正化基本計画」協議 ・「教育委員会 定例会」開催 「第二次学校環境適正化基本計画」審議</p> <p>○平成31年3月4日 ・「教育委員会 臨時会」開催 「第二次学校環境適正化基本計画」承認</p>	
<p>点 検 評 価 及 び 説 明</p>	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る ■ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる □目標を大幅に下まわる</p>
<p>○「学校環境適正化検討委員会」を継続組織し、「第一次提言」の「報告会」の開催や広報での周知、併せて「これからの学校を語る会」を開催するとともに、保護者への意見聴取を行い、集約した意見を「第二次提言」に反映させることができた。適正化検討委員会の果たした役割は非常に大きい。</p> <p>○「第二次提言」を受け、各小学校区単位に報告会を開催し、さらに地域住民や保護者、関係機関より意見を頂戴し、その意見を参考にしながら「基本計画」に反映させることができた。</p>	
<p>今後の課題及び改善策・方向性</p> <p>○「1中学校区1小学校」を基本とする大きな計画であるが、保護者や地域住民の反対等の意見も無く、市民の方々に受け入れられていると考える。</p> <p>○この基本計画に基づき、「小友小・石沢小統合準備委員会」や「本荘地域学校再編委員会」を組織し、協議を進めているところである。</p>	
<p>学識経験者の意見</p> <p>○長い時間を要して取り組んできたことや、細やかな配慮を評価したい。今後も丁寧に対応しながら計画を進めていただきたい。</p> <p>○「基本計画」策定に長い時間を要したことを踏まえ、今後この計画に基づいて進めるにあたっては、住民の意見を丁寧に聞きながら進めていただきたい。また、現在組織している「統合準備委員会」や「学校再編委員会」の意見を十分尊重しながら進めていただきたい。</p>	

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(2) 学校施設の整備	担 当 課	教育総務課
点検・評価対象事業名	②北部学校給食センター整備事業		
事業の目的	○全国的にも学校給食のセンター化が進められている中、本市においても単独校調理場の老朽化が進んでおり、今後、衛生基準等を満たした環境の中で安全安心な給食調理を実施するため、共同調理場（学校給食センター）を整備するものである。 【学校施設環境改善交付金事業】		
事業の実施状況	対象校：新山小学校 鶴舞小学校 岩城小学校 岩谷小学校 大内小学校 本荘北中学校 岩城中学校 大内中学校		
平成29年度事業 地質調査業務、実施設計業務			
○地質調査業務委託 H29.7.21～H29.10.31 1,897,560円			
○実施設計業務委託 H29.7.21～H30.5.31 12,960,000円			
平成30年度事業 建設工事Ⅰ期 ※三カ年（平成30～令和2年度）継続事業			
○建築・電気設備・機械設備工事一式			
工 期 : 平成30年11月30日～令和2年6月30日			
業者名 : 村岡・伊藤建友・塚本特定建設工事共同企業体			
契約金額 : 914,112,000円（税込）			
○厨房機器備品購入（287品目）			
業者名 : 株式会社 中西製作所秋田営業所			
契約金額 : 212,760,000円（税込）			
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
○29年度実施の地質調査において、支持層までの深度が場所によって異なることが判明したことから実施設計が平成30年5月末まで延長となったが、30年度は計画通り実施でき、令和2年8月の稼働に影響すること無く事業が進んでいる。			
今後の課題及び改善策・方向性			
令和元年度：建設工事Ⅱ期（建築・電気・機械）、 令和2年度：建設工事Ⅲ期（電気・機械・厨房機器・外構） 受入校改修工事：令和2年8月			
○センター整備事業に合わせ、市内全ての学校における給食費の公会計化に向けて調整を図り、令和2年度からの実施を目指す。			
学識経験者の意見			
○本市においては初めての本格的な給食センターである。今後稼働までの取組のなかで、また稼働当初、想定していないことが起こるかもしれない。様々な課題が生じることもあるかもしれない。その際、対象となっている小・中学校8校の給食に影響がないよう、きめ細かい配慮が必要であり、適切な対応をお願いしたい。			
○給食費の公会計化も4月から始まるが、給食費を含め様々な面で、現場の声を大切にして進めていただきたい。			
○北部学校給食センターの8月稼働を、大いに期待したい。			